

上杉謙信、嚴冬の脊梁山脈を越える

企画展



えつ
ごん

上杉謙信侵攻と
関東の

城



平成30年

12月1日土

平成31年

—2月17日日

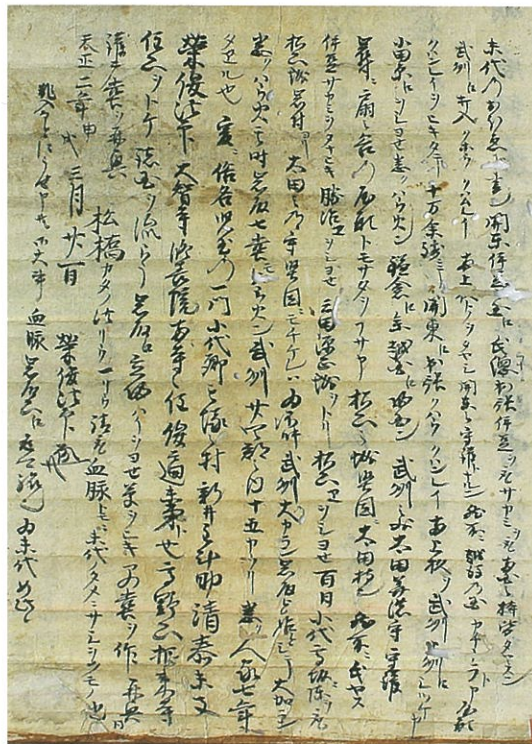
埼玉県立 嵐山史跡の博物館
Ranzan Historical Museum

彩の国
埼玉県

越後の虎上杉謙信は、雪深い嶺を越え繰り返し関東に侵攻した。
関東管領としてのこの戦いを、謙信は自ら越山と呼んだ。

謙信と越山

関東管領を継承した上杉謙信が、関東に進出を図った過程と17次にのぼる越山の様相について、文献資料から探ります。



謙信越山の実態を
記録した覚書
(正法寺蔵)

越山で何が行われたかを記す貴重な記録です。

戦の舞台—城とは何か—

現在も残る近世城郭とは異なり、地中に埋もれ目にすることが難しい戦国の城の実態と居城の様相を考古資料で紹介します。



深谷城で出土した塗り碗と
木皿(深谷市教育委員会蔵)

中世は土器に代わり塗り物が食器の主体になりました。

深谷城で出土した茶臼と天目
茶碗(深谷市教育委員会蔵)

戦国時代に流行した喫茶が城内でも行われていました。



深谷城で出土した横櫛
(深谷市教育委員会蔵)

戦国の城郭に居城した人々の生活の様子がわかります。



攻城戦の実態

上杉謙信と後北条氏が激しく争った関東の城郭。その攻城戦の実態に考古資料から迫ります。



騎西城で出土した槍先・鏃(左)と
鉄・銅・鉛の銃弾(右)
(加須市教育委員会蔵)

攻城戦では弓と鉄砲が主な武器として用いられました。



企画展関連事業

●企画展関連講演会「上杉謙信の雪中越山」

講師/築瀬大輔氏(群馬県立女子大学准教授)
日時/平成30年12月6日(木) 13時45分開演
定員/500人(定員を超えた場合抽選)
費用/100円



●特別講演会「戦国武将と城郭」

講師/小和田哲男氏
(静岡大学名誉教授・日本城郭協会理事長)
日時/平成31年1月27日(日) 13時45分開演
定員/500人(定員を超えた場合抽選)
費用/500円



申込み/往復はがきに①御希望の講演会名、②氏名、③住所、④電話番号をお書きの上企画展関連講演会は11月1日(木)～11月20日(火)必着
特別講演会は12月1日(土)～平成31年1月8日(火)必着で当館までお送りください。
なお、1通で2つの講演会に申し込むことはできません。
どちらもお申込みになりたい場合は、必ず各1通ずつ御投函ください。

会場/どちらの講演会も国立女性教育会館講堂

●学芸員による展示解説

日程/平成30年12月9日(日)・16日(日)
平成31年1月13日(日)・26日(土)・2月3日(日)・17日(日)
いずれも午後1時30分～2時30分

申込み/不要。当日展示室受付前にお集り下さい。

費用/一般100円、学生・高校生60円(中学生以下と障害者は無料) ※入館料として

問合せ/埼玉県立嵐山史跡の博物館 電話 0493-62-5896 FAX 0493-61-1060

- 開館時間 9時00分～16時30分(入館は16時00分まで)
- 休館日 12月/10日・17日・29日・30日・31日
1月/1日・2日・3日・7日・21日・28日、2月/4日
- 入館料 一般100円、高校生・学生50円
中学生以下と障害者手帳をお持ちの方(付添1名含)は無料
- 開催場所 埼玉県立嵐山史跡の博物館
埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷757
電話 0493-62-5896 FAX 0493-61-1060
- 交通案内 電車 東武東上線武蔵嵐山駅西口から徒歩15分
自動車 関越自動車道東松山ICまたは嵐山小川ICから約10分

